

「足立区第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画」策定に伴うパブリックコメントの実施結果および意見に対する区の考え方について

1 実施期間

令和5年12月25日（月）から令和6年1月23日（火）

2 意見提出数

3件（2名）

3 意見の構成

内容	件数
第1章 データヘルス計画の基礎情報	
第2章 健康・医療情報等の分析	
第3章 第3期データヘルス計画の取り組み	1
第4章 データヘルス計画の推進	1
その他	1
合計	3

4 意見に対する区の考え方

別紙のとおり

いただいた意見に対する区の考え方
【足立区第3期データヘルス計画・第4期特定健康診査等実施計画（案）】

No	意見の概要	区の考え方
1	<p>将来計画として、(1) 東京女子医科大学附属足立医療センターとの連携、(2) マイナンバー健康保険証の大きな可能性、(3) 外国人加入者への対応、についての記述もほしかった。</p>	<p>(1) 計画の4頁「イ 区内関係機関との連携」に基づいて、東京女子医科大学附属足立医療センターとも定期的に意見交換や情報提供の場を設け、連携して区の施策を進めていきます。</p> <p>(2) マイナンバーカードを用いて特定健診結果が経年で閲覧できることの周知について、58頁「特定健診・特定健診受診再勧奨事業」の「プロセス(方法)」に追記します。</p> <p>(3) 外国人を含め、すべての方に、健診(検診)や健康増進、疾病予防に関する情報が届くように努めていきます。</p>
2	<p>生活習慣病の多さや特定健診やがん検診受診率の低さに対しては、区内企業の自主的な取り組み等は紹介しても良いのではないかと。</p>	<p>足立区が協定を結んでいる民間企業と連携して健診の勧奨を実施していることを、4頁の「ウ 外部機関との連携」、58頁「特定健診・特定健診受診再勧奨事業」と74頁「各種がん検診の受診勧奨と普及啓発事業」にて追記します。</p>
3	<p>特定保健指導における医療関係者と住民との連携手段は面接又は通信となっており、連携手段が統一されておらず、相互の情報共有や指導履歴管理の面において十分とは思えない。</p> <p>共通の電子的プラットフォームが構築された上で、面接や各種通信による記録が一元的に管理できれば、より効率的に推進できるのではないかと。</p>	<p>特定保健指導の連携手段は、利用者の様々なニーズに応え、より多くの方に利用して頂けるように、複数の手段を設けておくべきと考えています。</p> <p>また、共通の電子的プラットフォームについては、厚生労働省が推し進めている医療DXやマイナポータル等を注視しながら、利便性や効率性を検討していきます。</p>